

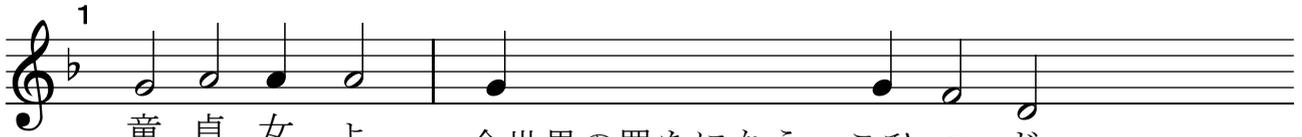
生神女讃詞

1 調

月曜日



光栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 にーアーミン



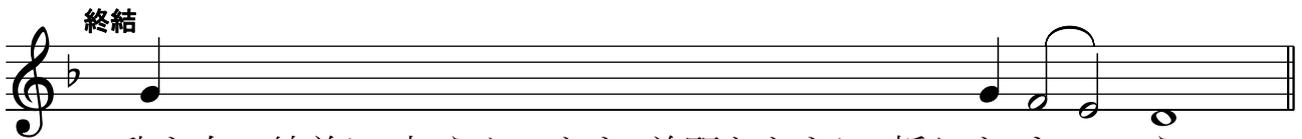
童貞女よ、 全世界の罪をになう こひっじ



至大なる前駆が衆人に伝えしものに 審判の時に おいて



我 不当の もの に 山羊の分を のがれ しめて



終結

我を右の綿羊に 加えんことを 前駆とともに 祈りたまーえ

生神女讃詞

1 調

火曜日

ザピエフ



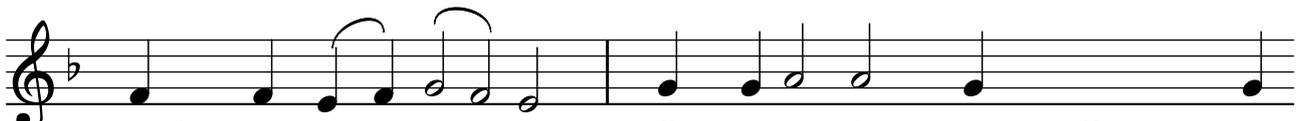
光栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 にーアーミン



いさぎよき ははよ、 爾は昔 爾の子 および 主宰が



十字架に 手を 伸 - べ 脇をほこにて刺さるるを 見るとき



号泣して 呼 - べ - り 悲しいかな 人々を苦しみより



とき給う仁愛の 主よ、 如何ぞ ^い苦しみを受く - る

生神女讃詞

1 調

水曜日

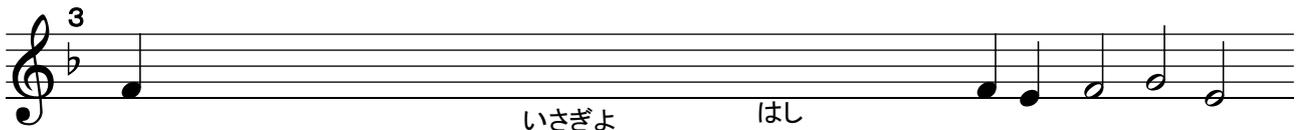
ザピエフ



光栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 にーアーミン



かみのははよ、 我罪の海に 荒らさるる もの は

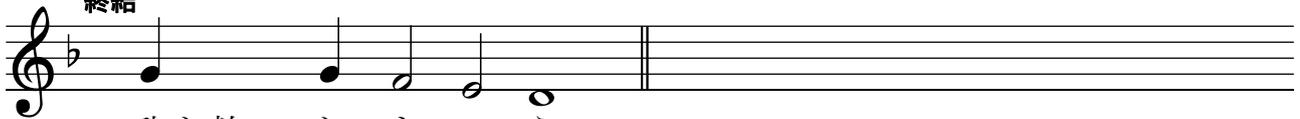


平安の港なる 爾の至りて潔き 祈禱に 趨り附きて爾に 呼ーぶ、



純潔なる ものよ、 爾の潔き手を 爾の僕に 伸べて

終結



我を救い た まーえ

生神女讃詞

1 調

木曜日

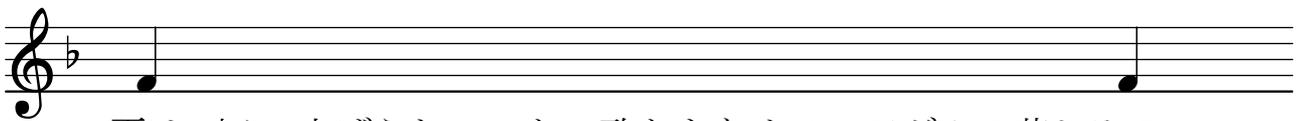
ザピエフ



光栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 にーアーミン



童貞女は泣きて言えり いと甘き子よ



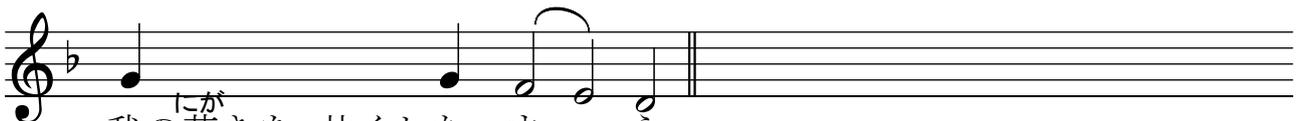
爾は木に上げられ、いと酔とをなめて、アダムの苦しみの



食の^{にが}苦しきを甘くしたまえり ゆえに義なる 審判者よ



全能者なるによつて 復活して^{かつ} 爾の^{いやし}医を施す苦しきをもつて



我の^{にが}苦しきを甘くしたまえ

< 光荣 … 生神女讃詞〔ドグマティック〕 > (第 1 調) 金曜日

生神女讃詞

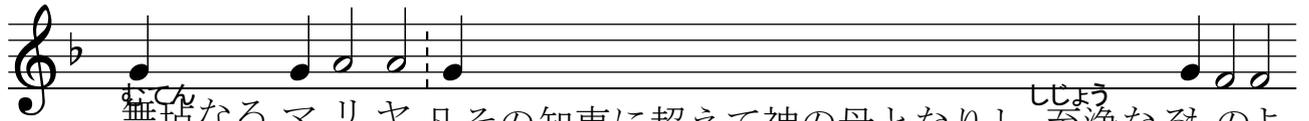
1 調

日曜日

ザピエフ



光栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 にーアーミン



無玷なるマリヤ 凡その知恵に超えて神の母となりし 至浄なるものよ



爾の至りて能力ある 転達を以て 我多くの罪に囲まれて



狭めらるるものを 痛悔の広きに 向かわしめ たまえ



爾は よくせざるところなき主の 母として これをよくすれば なり